

# 本年（昭和26年）におけるOB現役の会合状況

## 現役マネージャー 佐藤昭五郎

時は昭和26年3月25日、対早大戦の祝勝会、OBクラブ結成並びに新卒業生の淡水会入会歓迎会が行われた。久しぶりに行われたこの会合は、先輩より1回松田・安井・名塩  
2回吉井、3回田村（旧姓上山）、8回井藤、10回和田、11回亀井、14回松井、  
15回田淵、16回中西、18回木山、20回松本及び学部1回北・三木兄弟・藤川・野村  
殿村・北村の各氏を迎え本学グラウンドにて終始和気藹藹たる中のOB対現役の試合は進められたが、  
現役が若さにものをいわせて4-0（2-0、2-0）で快勝した。ただしOB側よりの申し入れ  
で再試合となり0-0の引き分けに終わった。

この頃より気遣われた空模様から春雨が降りはじめ小雨そぼ降るなかに、所を舞子海浜学舎に移して  
記念撮影後祝勝会及び歓迎会に入り、早大戦の懐古に、昔の思い出話にあるいは経験談に花を咲  
かせ、且つこの席上、満場一致にて前会長小橋廉造氏（高7回）の後をうけ3回卒田村善太郎氏が  
クラブ会長に、現役監督に8回卒井藤康三氏が推され、午後5時半目出度く散会した。かかる盛大  
裡に会合を終え得た事を先輩諸氏の一方ならぬご尽力の賜物と今更の如く部員一同感激を新たに  
した。

次いで会合は6月3日安井会計事務所でおこなわれた昭和26年度新入生歓迎会へと移る。この  
日予定していた先輩方々の参加が思わしくなかったが、部長田中教授および、OBクラブ会長田村  
善太郎氏のご来駕を仰ぎ開かれた。まず、田中部長より「最近会う人毎に“今年はどうですか”と  
聞かれるが、その裏には多数優秀選手を送り出してチーム力が低下し、“とても昨年のような成績  
は挙げ得ないでしょう”との意味が汲み取られる。せんだってのオリエンテーションの席で、マネ  
ージャーの方から本学の運動部はサッカー部を除いては他の部は問題にならないと非常に気焔を  
挙げていたが、それが単なる掛声だけに終わることなく実績を挙げて欲しい。幸い、今度OBクラ  
ブが結成されここに居られる田村氏に会長となって頂き、先輩方も相当力を入れて居られるから、  
その期待にも背いてはならない。」と歓迎の辞を兼ねた訓示があり、田村氏より会長としての挨拶  
およびキャプテン岡本の歓迎の言葉を終えて会食に入った。この時、15回卒田淵氏を迎えた。一  
人でも多くの先輩をと願っていた矢先でもあったので非常に嬉しく、話は新入生の個人紹介や、今  
後の練習法、又間近に兵庫県下新制大学大会のメンバー等に移り5時半閉会の運びとなった。やや  
時期外れの感が無いでもなかったが決して意義なきものではなかった。

新入生の氏名はすでに部員名簿でご存じの事と思われるけれども

R I 酒井保 R H 田中利信 F W 三浦和夫

F B 三木仁郎 G K 相馬和生 F W 木村誠司

の6人で神戸高でF Bをやっていた足立は一年間の休部となった。

本学 6（2-6・4-1）1 浪大

本学 5（3-0・2-0）0 大工大

本学 0（0-1・0-1）2 神大

新制大学大会は

本学 3（2-2・0-0・0-0・1-1） 関学Aチーム

で延長戦の末惜しくも抽選負けとなった。

今年は昨年比べて個人プレーに相当の開きがあるので理論的に、あるいは実技において先輩方々  
の一層のご鞭撻をお願いする事切なるものがある。